

# 中教研養護部会のあゆみ

徳島県中教研養護部会副会長 喜多章代

社会の変化と共に養護教諭に期待される役割が拡大してきました。健康課題を正しく把握し、教職員と協働して健康教育を行っていくことができる養護教諭であるために、自己研鑽に努めることがますます大切になっていきます。中教研養護部会では、本年も、研究主題「心と体の健康をはぐくみ、たくましく生きる生徒の育成をめざして」の下、研修を進めてきました。

## ●5月16日(火) 中教研理事会 (工業技術センター)

平成28年度の事業計画と会計報告、平成29年度の事業計画、予算案、研修計画、養護教諭協会総会、県総体救護等について協議をしました。

## ●5月23日(火) 中教研養護部会総会

(総合教育センター)

前年度の事業報告、決算報告等理事会で協議された内容について全ての原案が承認されました。本年度も引き続き、会長に藍住中学校の谷川健二校長先生にお願いし、会員86名のスタートとなりました。

## ●7月8日(土)～23日(日) 県総体救護

## ●7月24日(月) 夏季養護教諭研究大会

(あわぎんホール)

吉野川市中学校養護部会共同研究 鴨島第一中学校の大牛祐子先生が「進路前の中学3年生が『知り・気付き・変わる』ための取り組みー養護教諭が行う中高連携」と題して発表されました。受験生のメンタルヘルスの指導や支援について、市内の養護教諭が共同して教職員や高校との連携を深めることによってメンタルヘルスの向上が図られ、生徒が積極的に進路決定に臨むことができました。

## ●8月4日(金)～6日(日) 四国総体救護

## ●8月4日(金) 中教研養護部会夏季研修会

(県立障がい者交流プラザ)

午前は、日本赤十字社徳島県支部の吉田滋様、多田春美様から、救急処置法について講義と実技講習を受けました。午後は、保健室での応急処置等についてグループ協議を行い、続いて戸田皮膚科医院理事長の戸田則之先

生から「子供のためのスキンケア」と題してご講演をいただきました。ドライスキンやにきび、アトピー性皮膚炎等の正しいケア、紫外線対策、外傷の処置等皮膚の様々なトラブルに関する正しい知識と適切な対応について理解を深めることで、有意義な研修ができました。

## ●8月18日(金) 中教研理事会 (総合福祉センター)

総体救護、夏季大会、夏季研修会の反省、養護教諭の職務の現状について考察し、問題点や改善について協議をしました。午後は、小中合同で養護教諭の職務について課題を共有し、協議・検討を重ね、県教育委員会への要望をまとめました。

## ●10月27日(金) 中教研養護教育研究大会

(池田総合体育館)

午前は、「保健室経営の充実を図るために一解決思考アプローチを取り入れてー」と題して、吉野中学校の山口ゆり子先生が発表されました。保健室利用カードの改善を中心に保健室経営の充実を図り、学校全体の健康教育の充実へと発展させました。その後、グループで保健室経営をテーマに協議をしました。午後は、「保健室経営を通して考える養護教諭の足跡と将来像」と題して徳島大学大学院医歯薬学研究部学校保健学分野教授の奥田紀久子先生からご講演いただきました。養護教諭を取り巻く法律の変遷と共に養護教諭の未来を考えつつ、向上心をもち感性と表現力を磨くことの大切さを説かれました。

## ●12月19日(火) 中教研理事会 (工業技術センター)

本年度の研修の反省、次年度の研修計画、実践事例集の作成等について協議をしました。

## ●2月19日(月) 中教研理事会 (工業技術センター)

本年度の反省と平成30年度の計画等について協議をし、実践事例集を配布しました。

会員の皆様のご支援とご協力、ご指導くださいました県教育委員会の先生方、部会長の谷川健二校長先生をはじめ各郡市の係校長先生の皆様に心からお礼を申し上げます。